

市議会議員の活動レポート

總務政策常任委員會 行政視察

令和7年10月7日に大阪府四條畷市を訪れ、働き方改革について、取り組み内容とその成果などの説明を受けました。この視察では一般的な働き方改革とは違い、改革の手法や考え方など、新たな気付きが多くありました。まずは現状の仕事に追われることからの脱却、今後の課題に前を向く体制づくりは香取市の発展には欠かせないと感じました。

8日には泉佐野市を訪れ、ふるさと納税で全国で1位になるまでの経緯と、クラウドファンディング型のふるさと納税の説明を受けました。泉佐野市は、ふるさと納税に有利とはいえない条件下で成果を上げていて、特に「#ふるさと納税3.0」は自治体、事業者、納税者の三者にメリットのある取り組みであり、市の活性化に貢献できると考えられます。事業者のクラウドファンディング提案が難しいという課題もありますが、自治体がサポートし公民連携することで香取市でも更なる成果があげられると感じました。



生活經濟建設常任委員會 行政視察

令和7年10月9日に茨城県石岡市と鉾田市の行政視察を行いました。

石岡市では、新規就農者研修農場「朝日里山ファーム」の取り組みについて説明を受けました。ファームとJAやさと有機部会とのパイプが構築されており、新規就農を目指す人に環境整備や知識も含めてサポートしている点が、実績に繋がっていると感じました。農業の担い手の確保を通じて、移住促進にもつながる可能性がある取り組みであるため、人口減少対策として移住支援策と合わせた展開をすることも一案と感じられました。

鉢田市では、地域特産品を活かした地域活性化イベントについて、その概要や効果などの説明を受けました。イベント自体のマンネリ化を解消するため、その時々の流行と地域資源を融合した企画ができるかが課題と改めて認識しました。



ココがききたい Q&A

河野節子議員



二次元コードからスマートで質問の内容や録画が見られます。



Q. 新規に加わったフルーツや体験型の返礼品
ます。

を誘致するために、クラウドファンディングと組み合わせて市が100%の補助金によ

成田国際空港の機能強化に伴う 地域づくりはじめに

**先進地のアイデイアを
活用してふるさと納税
増額を**

Q. ふるさと納税過去5年間の納税額の推移
と人気のある返礼品は。

A. 1000万円単位で、令和2年度2億12
00万円、令和3年度3億7500万円、
令和4年度5億6000万円、令和5年
度7億5800万円、令和6年度9億9
000万円となっています。人気の返礼
品はサツマイモや干し芋、ペットボトル
のお茶飲料、鳥肉等の加工品となってい

Q. 寄付金の活用実績は。

A. 最も多いものが市長にお任せで、約4億5600万円、続いて子育て支援の関連が約1億円、中小企業や商店街の活性化の関連が約5800万円、農林畜産業の関連が約3100万円となっています。

意見 泉佐野市が発案した「#ふるさと納税3・0」という制度は、返礼品を生み出す企業

Q. H-アポートシティ構想が四者協議会で合意され、香取市も「成田新産業特別促進区域」に位置付けられています。このチャンスを活かした地域づくり計画の進捗状況は、千葉県と成田空港周辺9市町では、成田新産業特別促進区域基本計画を策定し、国から同意を得ました。また、農林水産省から、成田空港と一体的利用が必要な物流施設等を整備する場合の、農振除外や農地転用の弾力的活用に関する取扱い通知が発出され、重点促進区域を設定することで、事業用地としての予見性が高まります。さらに、成田新産業特別促進区域基本計画が変更され、推進したい分野に精密機器、航空宇宙、健康医療、農業、観光が追加されました。特に農業、観光は、香取市での活用が期待できるため重点促進区域設定に向けて取り組みを進めています。